

## I 総括的概要

平成 27 年度の我が国経済をみると、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略を柱とする経済財政政策の推進により、雇用・所得環境が改善し、原油価格の低下や T P P 交渉の関係国が基本同意に達するなど交易条件が改善する兆しが見える中で、緩やかな回復基調が続きました。ただし、中国をはじめとする新興国経済の景気減速の影響等もあり、輸出が弱含み、個人消費及び民間設備投資の回復に遅れがみられました。

政府は、「希望を生み出す強い経済」、「夢をつむぐ子育て支援」、「安心につながる社会保障」の実現に向け、平成 27 年 11 月 26 日に「緊急対策」を取りまとめ、雇用・所得環境が改善する中、その効果もあって、今後景気は緩やかな回復に向かうとしています。

物価の動向をみると、経済の好循環が伸展する中で、物価の基調は緩やかに上昇しています。この結果、平成 27 年度の実質国内総生産（実質 GDP）成長率は 1.2%程度、名目国内総生産（名目 GDP）成長率は 2.7%程度。また、消費者物価（総合）は 0.4%程度の上昇となるとしました。実感としてはなかなか感じ難いものの、全体的には緩やかな回復傾向にあると思われませんが安定感を欠く一年でした。

宝塚商工会議所は、総合経済団体としての基盤強化と課題を解決する会議所を目指し策定した「たからづか経済活性化プラン」に基づき、持続的な成長を遂げていくための事業を推進しました。具体的には商工会議所会館の稼働率の向上を目指し、会館の改装に取り組み収入増を達成しました。一方、「異業種連携」による中小企業・小規模企業の「新たな挑戦」への支援を加速させました。「宝塚花の里・西谷」という統一したブランドプロモーションによるロゴの作成や、それを活用した包装資材等の製作などにつなげブランドの露出度を増進させる効果を生みました。

また、地域内産品の商品化へ向けて積極的に試作品づくりに取り組むグループも複数あり、確実に新商品を生み出す胎動を実感する年度となりました。会員による地道な努力があればこそその結果です。地域全体が未来に希望を持ち浮揚感を共有するために多くの会員が「新たな挑戦」に取り組んでおられます。商工会議所といたしましても会員事業所の皆様の手となり足となって、今後も引き続き支援を強化してまいります。

個別の事業については、以下のとおり報告いたします。

### ＜重点事業 1＞ ワンコイン de スタンプラリー2015

6回目を迎えた当該事業は、市民の声を反映し冊子をタブロイド版に刷新、容易にプレゼントへの応募もできるよう工夫いたしました。

ほぼ前年並みの300事業所に参加いただき、地域の高い期待に応えるために会員事業所も商品の展示や新メニューの開発等に大いに奮闘されました。ワンコイン de スタンプラリーは「だいすき宝塚」事業の原点であり、地域に根付いた事業となりました。

### ＜重点事業 2＞ マンガで宝塚の魅力を新発見！

フリーペーパーやチラシなど通常の広告媒体ではなく、ストーリー性を加味した新しい媒体として「マンガ」で情報発信に取り組みました。

比較的市内利用頻度の低い20～30代をターゲットとするため、まちの魅力を発見する宝塚3兄弟ストーリーで2巻発行『キュン♥する!? 宝塚』冊子として書店や参加事業所で販売等に取り組みました。気軽に市内店舗等の魅力を発見できるようにお得な特典も付け、市内消費活性化の一助となりました。

### ＜重点事業 3＞ 異業種交流活性化支援事業

#### 1. 宝塚名産販促・開発事業

宝塚すみれシャンメリーの1本入り包装パッケージ（紙缶）が完成し、本格的なギフト化を進めることができました。

商品の取扱い企業も決定し、青年部は販路拡大に向け今後も活動を継続することとなりました。

#### 2. 宝塚新商品開発プロジェクト

8グループが参加し、宝塚西谷産の産品を使って、新名神高速道路宝塚北サービスエリア向けの商品開発を行いました。また、新たに「宝塚 花の里・西谷」というブランドを立ち上げ、ロゴマークの制作と商標登録申請も行いました。

### ＜重点事業 4＞ 会員増強

今年度も、小規模事業者持続化補助金の申請や青年部等が実施する「だいすき宝塚異業種交流会」において加入促進することができました。

また、役員議員を中心に新規加入会員の紹介による増強を図りましたが、一方で事業者の高齢化による廃業等の退会もあり、会員数は微増にとどまりました。

総務常任委員会が中心となって検討された「会員増強」の手法は効果が高く、増強運動に今後も取り組みます。

## ＜重点事業 5＞ 創業・第二創業支援（地域ビジネス創出支援事業等）

起業を考えている人を対象とした創業セミナーを4日間開催、延べ78名が参加しました。併せて「ビジネスプランコンテスト」を実施、ビジネスプランのブラッシュアップを支援しました。

また、起業の際に取引が予想される業種で希望する会員事業所一覧「創業お役立ちリーフレット」を作成し、起業時の取引先探しを円滑化させ、市内取引を活発化させることに役立てることができました。

## ＜重点事業 6＞ 相談指導体制の充実

今年度も小規模事業者持続化補助金やものづくり・商業・サービス新展開支援補助金等国の補助金申請に係る伴走型支援を実施、経営革新の相談業務他に取り組みました。

### 1. 窓口相談の充実（延べ784事業所）

- ア 経営指導員による小規模事業者の経営相談並びに支援  
（金融、税務、経営、労務、経理、記帳指導、消費税対策 等）
- イ 地域プラット・フォーム関係各機関及び兵庫県よろず支援拠点との連携  
（専門相談員の派遣・企業診断・経営指導の斡旋）

### 2. 巡回相談の充実（延べ1,479事業所）

- ア 経営指導員による担当地区の企業及び団体への経営支援の強化
- イ 巡回記帳継続指導